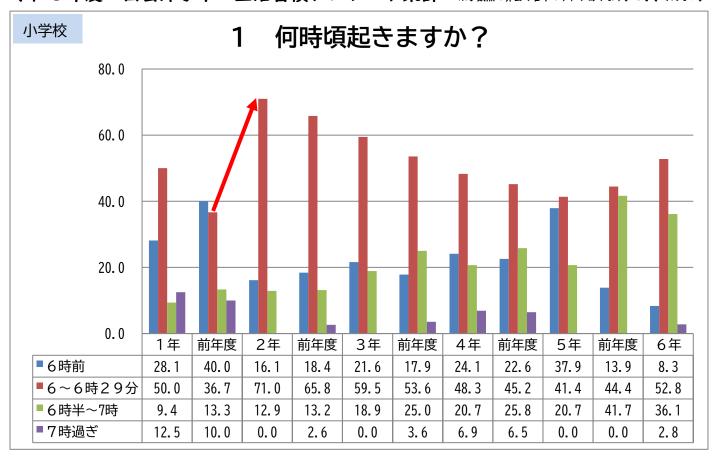
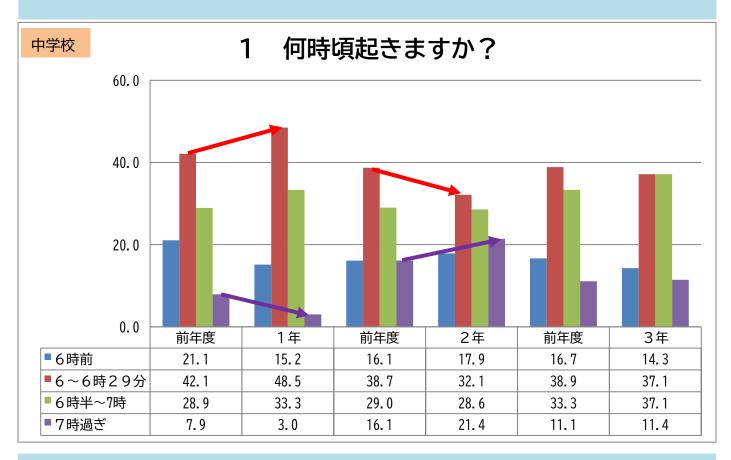
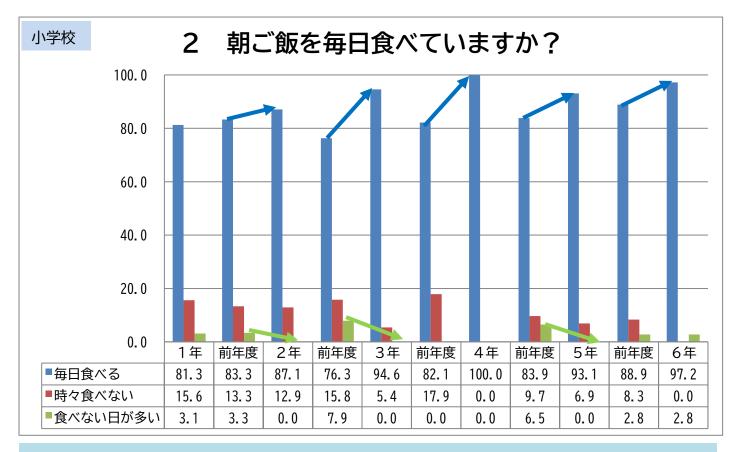
令和3年度 西会津小中 生活習慣アンケート集計 ※小数点の算出で若干のずれがあります。ご了承ください。



全体的に $6:00\sim7:00$ の間に起床している。特に 2 年生は 1 年生の時より変化が見られ、小学校の生活に適応している様子がうかがえる。

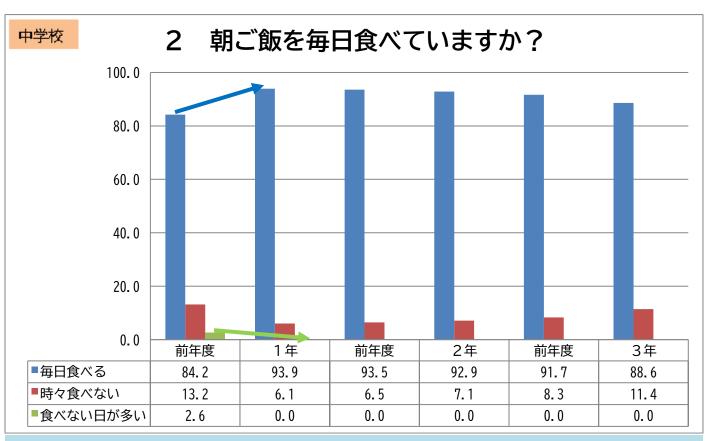


I 年生は中学校生活に慣れた様子がうかがえる。2年生が昨年より起床時間に変化が見られる。3年生はほぼ横ばいで変化は見られなかった。

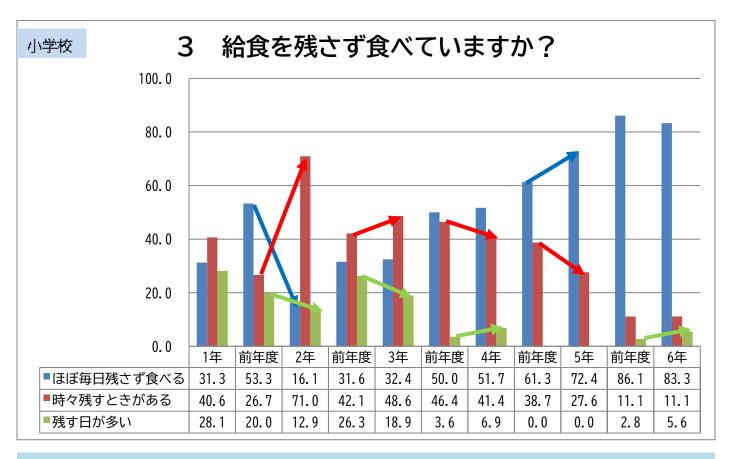


全学年で、昨年度より"毎日食べる"の割合が増加した。朝食を見直そう週間運動の事前指導や、食育の指導の成果とも考えられる。また、"食べない日が多い"の割合が減少しており「朝ご飯は、食べてくる」という意識の変化が見られる。

【食べない理由:食欲がない、起きるのが遅い、時間がない、食べるのを忘れるなど】

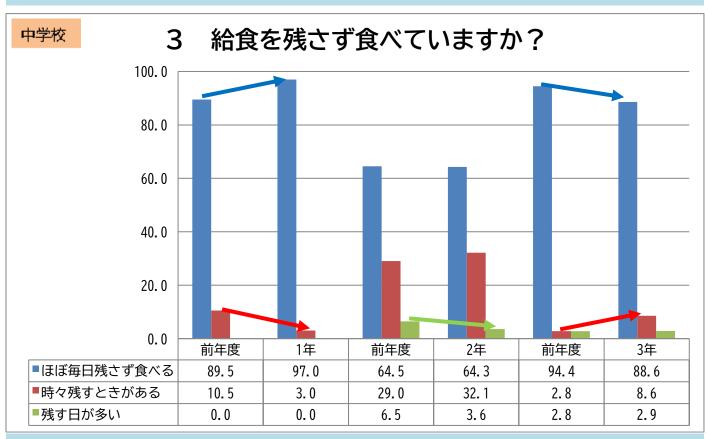


| 年生で"毎日食べる"の割合が増加した。2、3年生は昨年度からほぼ横ばいできている。朝ご飯を食べてくる習慣を身につけつつ、朝食の内容についても考えられるよう今後も家庭科等の食育を継続させていく。【食べない理由:食欲がない、食べなくても大丈夫、気持ち悪くなる、お腹が痛くなる、起きるのが遅いなど】

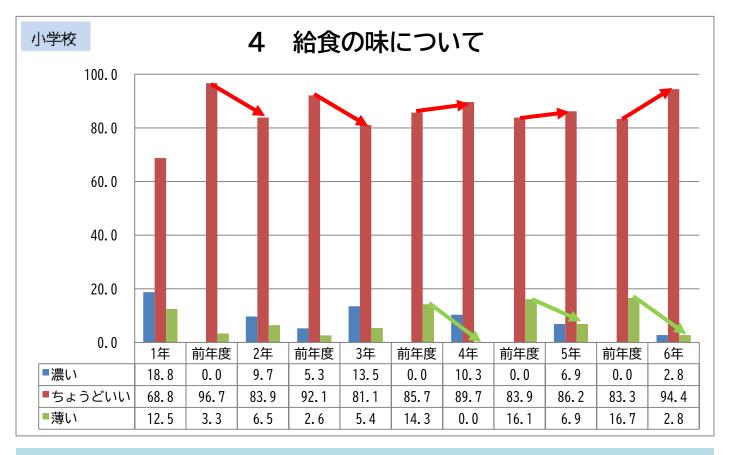


学年が上がるにつれて"ほぼ毎日残さず食べる"が増えている。献立にもよる可能性があるが、食の経験 値が上がることも要因として考えられる。

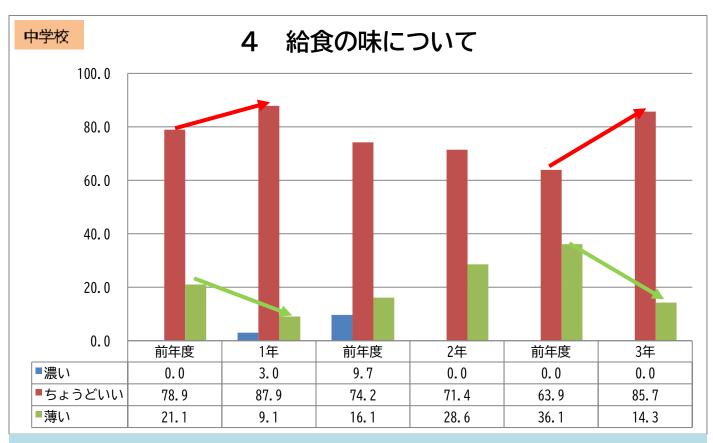
【食べない理由:野菜が苦手、お腹が減っていない、量が多い、牛乳が苦手など】



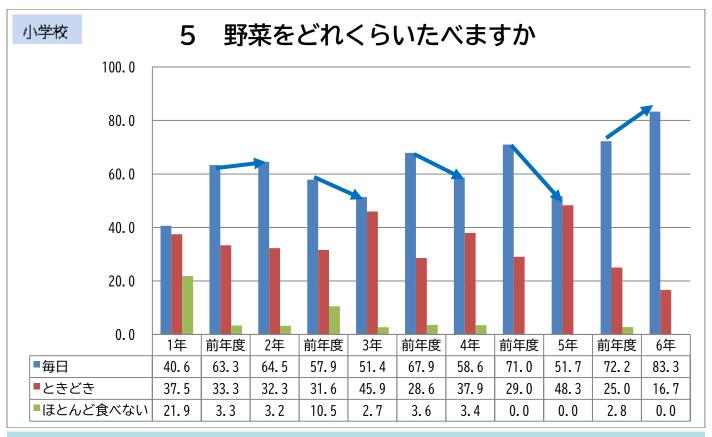
ほぼ横ばいとみえるが、3年生に関しては、運動部を引退したことによる食事量の調整が見受けられる。 【食べない理由:嫌いな野菜が多く出る、お腹がいっぱいになるなど】



献立によるのか、4年生から6年生にかけて味覚が"ちょうどよい"と回答する割合は高い。低学年はまだ味覚について、ちょうどよいとされる味が定着していない様子。

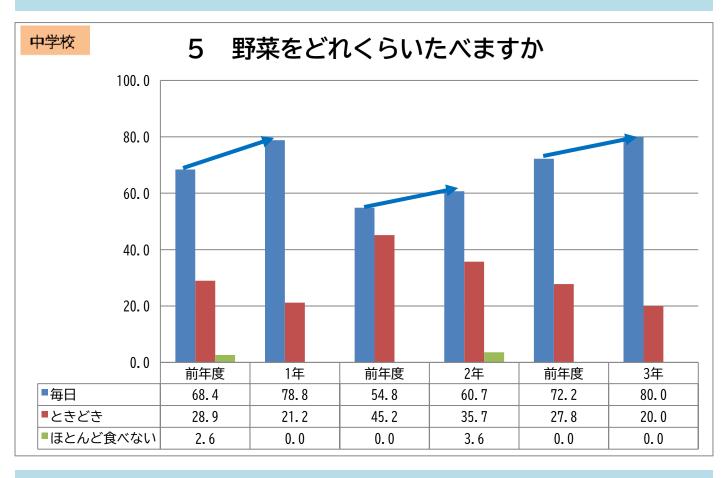


全体的に"ちょうどよい"と回答する割合は高く、"薄い"と回答する割合が減っている。味覚については、塩分量やだしについて等の食育を通じて指導が引き続き必要である。

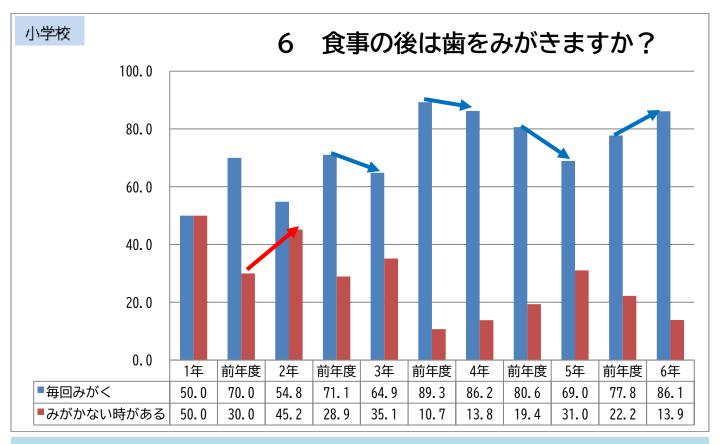


「野菜を食べる」という意識が、学年の状況によって異なる。野菜を家庭で食べる習慣が影響していると 考えられる。

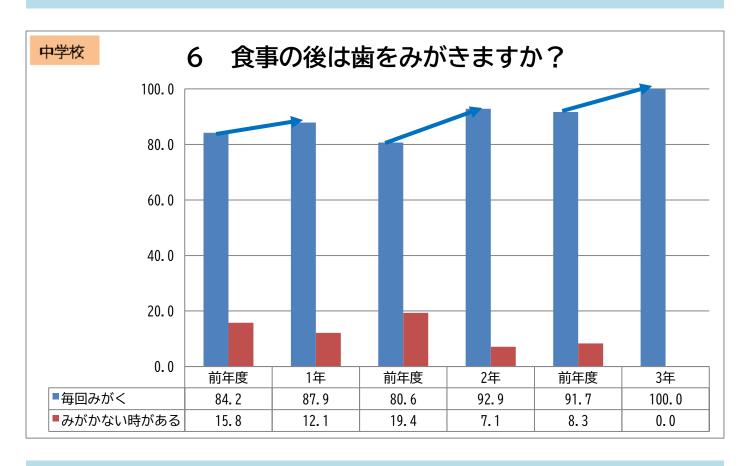
【食べない理由:苦そう、におい、母に作ってもらえないから、食卓に出てこない、嫌いだからなど】



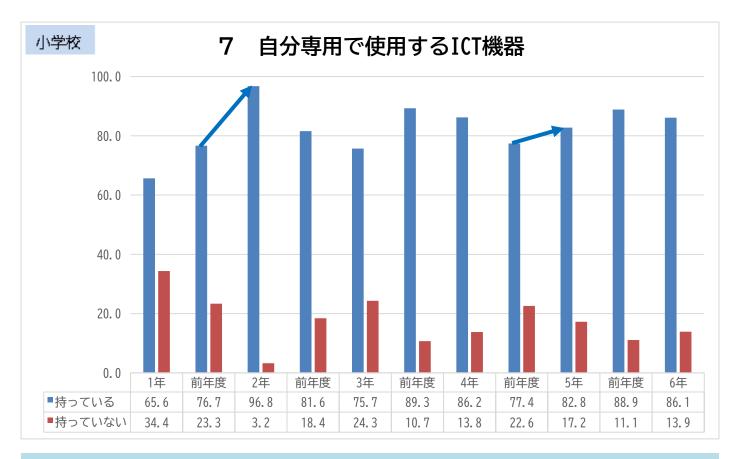
全体的に"毎日野菜をたべる"割合が高くなっている。「野菜を食べる」意識が、栄養教諭の日常指導や集団指導から定着していると考えられる。



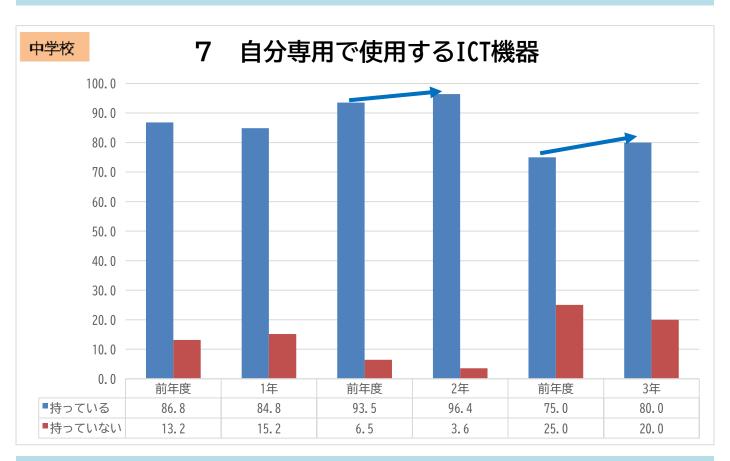
6年生以外で毎回、食後の歯磨きをしているという割合が低下している。"磨かない時がある"児童については、主に朝食後に磨かない割合が多くみられた。歯磨きの指導を引き続き実施していく。



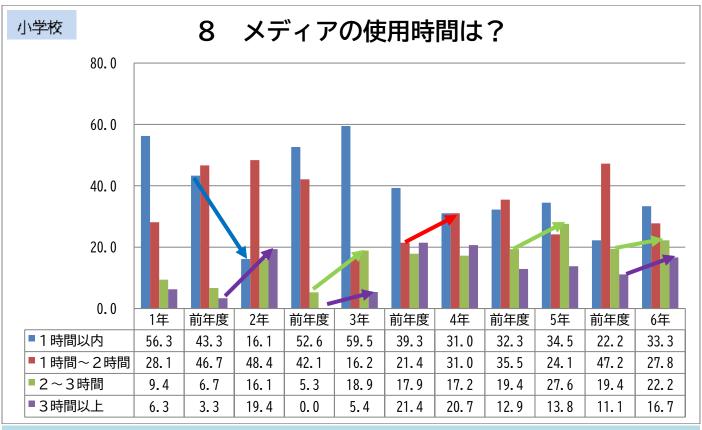
歯磨きをする割合が高い。見た目や口臭について気にする年齢にもあることや、自己管理の意識が高まっている。"磨かない時がある"生徒については、主に朝食後に磨かない傾向がみられる。



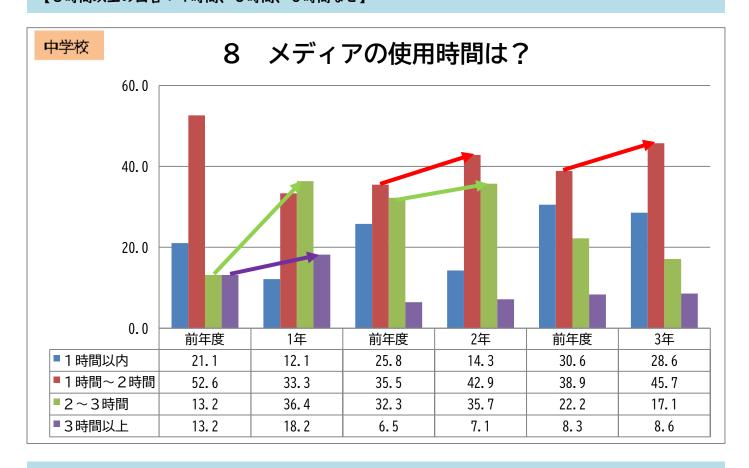
ほとんどの学年で自分専用のものを所有している。次の「8メディアの使用時間」の回答を見ると、所持率との関係性が見られる。



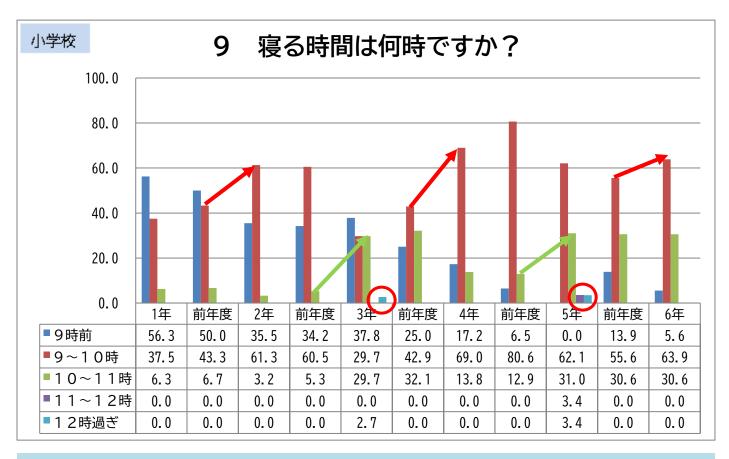
高い割合で、自分専用のものを所有している。次の「8メディアの使用時間」の回答を見ると、所持率との関係性が見られる。



学年の差がみられるが、2年生に関しては、所持率が上がっていることもあり、3時時間以上の使用時間の割合が高くなっている。使用目的について知ることが必要であり、目の健康、姿勢の崩れが心配される。 【3時間以上の回答:4時間、5時間、6時間など】

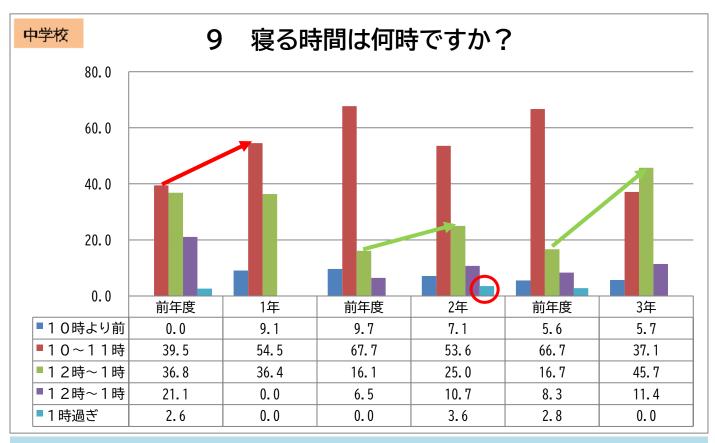


Ⅰ年生以外は大きな変化は見られない。全体的には、Ⅰ時間以上3時間未満で使用の状況がみられる。
【3時間以上の回答:4時間、5時間、平日4~5時間、休日7時間以上など】



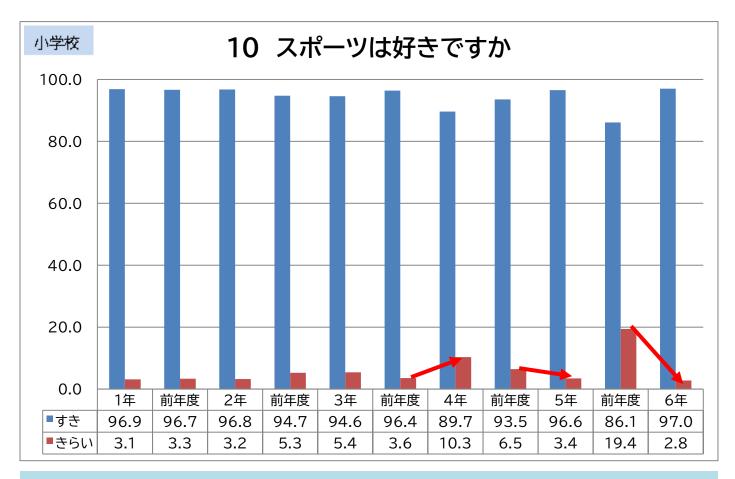
発達段階に応じた、成長等に必要な睡眠時間の確保ができていない学年が見られる。引き続き必要な睡眠 時間について指導を継続する。

【睡眠が遅くなる理由:勉強、テレビ、習い事など】

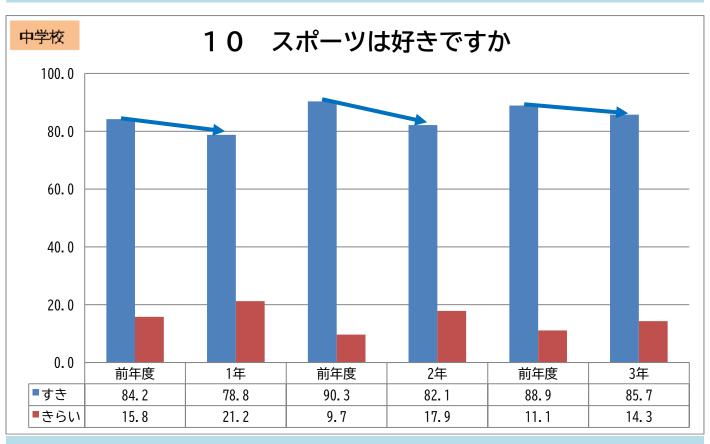


勉強時間の確保等も考えられるが、22時には就寝し、8時間の睡眠を確保することの必要性を引き続き 指導していく。

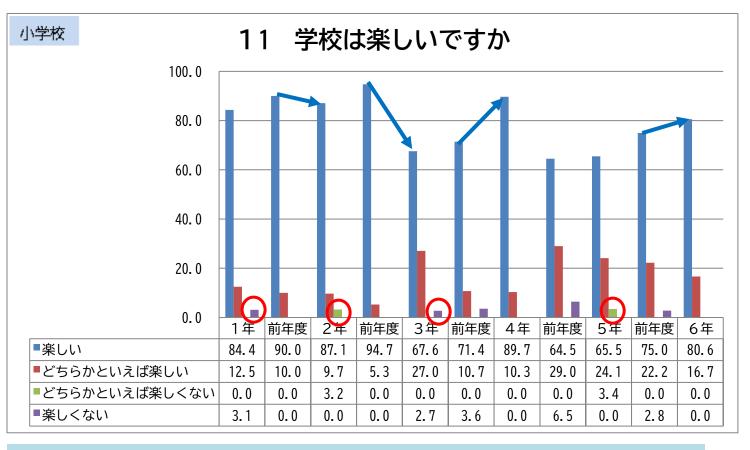
【睡眠が遅くなる理由:勉強、テレビなど】



4年生以外で"すき"の回答の増加がみられた。全体的に体を動かすことについては抵抗がない様子。運動能力を上げ、スポーツテストの判定の向上につなげていけるよう、運動の習慣化が課題となる。

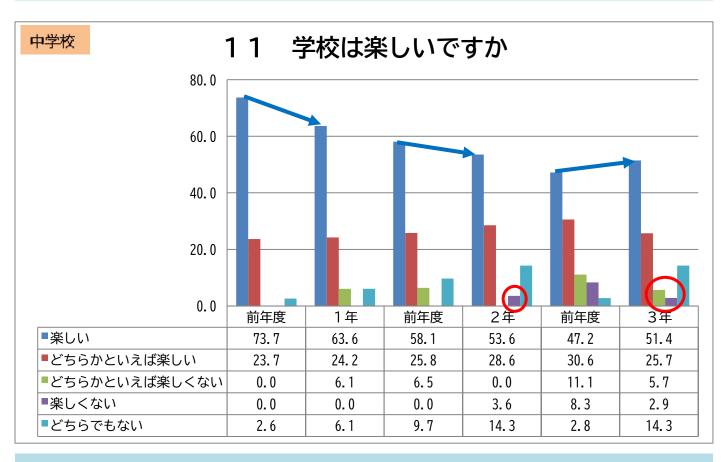


前年度と比較すると、学年が上がるにつれ、"すき"の割合が低下している。部活動など運動による疲れなどがあるのか、嫌いになっている理由を聞いていく必要があると考える。



学年によって回答の差が見られる。昨年度よりも "どちらかといえば楽しくない" "楽しくない" の回答が みられる。

【楽しくない理由:嫌なことがあるから、席替えをした、友人関係など】



I, 2学年で"楽しい"の低下が見られる。学年によって回答の差はあるが、昨年度よりも"どちらかといえば楽しくない""楽しくない"の回答がみられる。

【楽しくない理由:あまり楽しいことや面白いことがない、友人関係、いろいろですなど】